

6月16日（火） | 18:45-20:00 | ZOOM 登録は [こちら](#)

公共政策にはどのようなキャリアがあるだろうか？  
省庁や政府機関、国際機関、NGOといった従来からの公共政策の仕事に加え、企業における公共政策関連ポジションも増えている。今回は省庁、政府機関、国際機関、NGOと民間企業両者のポジションでキャリアを築かれている3名のゲストをお招きして、公共政策のキャリアと仕事について話を伺います。



小笠原由佳  
社会変革推進財団  
インパクトオフィサー  
東京大学教養学部、プリンストン大学ウッドローウィルソン公共政策大学院修了。国際協力銀行にて、中央アジア・中東欧向け円借款・国際金融業務、ペイン・アンド・カンパニーにて、経営コンサルティング業務とプロボノ事業の立ち上げ、子どもの関連NPOへの支援を担当。JICAにてインド・トルコ・インドネシア向け援助業務に関わった後、社会変革推進財団（SIIF）に参画。SIIFでは、インパクト投資や休眠預金活用事業に従事。6歳3歳児の母。



岸谷美穂  
Zホールディングス株式会社  
政策企画統括部  
執行役員付参事  
英ブラッドフォード大学大学院修了（紛争解決学修士）。15年以上にわたり官民において、社会課題を起点とした事業戦略の策定、事業立案・運営、渉外業務に従事。大学卒業後、NGO職員として東チモールやイラク等の紛争地帯における人道支援事業を統括、国連職員としてエルサレム（UNRWA）、ニューヨーク（UNICEF）、神戸（WHO）に駐在し渉外業務を担当。米国系会計ファームにて戦略コンサルタントを務めた後、現職。



松田友加里  
アマゾンジャパン合同会社  
渉外本部  
公共政策本部長  
東京大学経済学部、ペンシルバニア大学デザインスクール修了（都市計画修士）。12年間、国土交通省にて、道路・住宅・空港等のインフラ政策立案、法律・予算・税制業務に従事。空港民営化を皮切りに、省の官民連携政策の推進、海外インフラに日本企業と共同出資する政府系ファンド（JOIN）への出向、大規模民間都市開発促進業務の統括を経験。通信会社にて自動運転に係る渉外業務に関わった後、2019年9月より現職。